

学生ボランティア活動の新型コロナウイルス感染防止策チェックリスト（レベル1）

主催者（依頼者）が行う感染防止対策 ※ボランティア依頼受付時に確認する事項

1. 行事のスタッフ及び参加者が次の事項に該当する場合は、参加させないこと。
 - (1) 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - (2) 同居家族や身近な知人に感染が疑われる人がいる場合
 - (3) 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされる国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
2. スタッフ及び参加者にマスクを着用させること。
3. こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
4. 他の参加者、スタッフ等との距離（2mを目安に）を確保し、直接の接触を出来るだけ避けるよう留意すること。
5. 屋内で実施する場合、換気を十分に行い、上記「4.」の距離を確保したうえでの収容定員とすること。
6. 行事の参加者に対して、調理した食事を提供する活動は行わないこと。
7. 学生の参加は活動のみとし、終了後の飲食を伴う反省会等には極力参加させないこと。
8. 参加者の中から感染が発生した場合に備えるため、参加者の名簿を作成し管理すること。

ボランティア活動を行う学生が留意すべきこと ※参加学生に周知する事項

1. 体調がよくない場合は活動に参加しないこと。
2. マスクを着用すること。
3. こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
4. 他の参加者、スタッフ等との距離（2mを目安に）を確保し、直接の接触を出来るだけ避けるよう留意すること。
5. 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと。
6. 参加は活動のみとし、終了後の飲食を伴う反省会等には極力参加しないこと。
7. 行事終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、大学及び主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。